

メイドの騷け方

～没落令嬢をご奉仕メイドに徹底開発～

成人向けCG集

基本CG15枚 本編枚数301枚



霧林凜音 (きりばやしりんね)

165cm

92/58/93 (Hカップ)

国内で有数の財閥、霧林財閥の令嬢。

品行方正で学園では学生たちの憧れの的。
プライドは高いものの、
家族のためであればどんな屈辱にも
耐えようとする。

不祥事によって大損害を受けた家のため、
悪い噂がある男の家の助力を得ようと、
その男の専属メイドになることに。

結果、性的なご奉仕をすることになり、
男に身体を開発されてしまう。

とある屋敷の一室に、
私は一人の男と向き合っていた。

よく来たな凛音
りんね

てっきり逃げたと思ったぞ

逃げるわけないでしょう

それよりも約束を守りなさい



ニヤニヤ

わかってるわかってる
俺もだけど親父も
ちゃんと約束は守る男だ

お前がメイドとして
ちゃんと俺に仕えてくれたらな
ぐふふふ…

…っ！



ふふふっ

それにしてもお前の家…
きりばやし
霧林財閥も大変だな

傘下の会社が不祥事を
起こしたと思ったら
次から次へと不祥事の発覚

このままだと多くの人間が
路頭に迷うことになる事態に

そこに俺が手を貸すように
進言したんだ…感謝しろよ

わかっているわ…

私の家は国内で有数の財閥……だった。

一カ月ほど前に関連企業が
不祥事を起こしたことをきっかけに、
いくつもの不祥事が発覚した。

おかげで連日ニュースで取り上げられて
不祥事を起こしていいない企業にも
大損害を与えてしまうことに。

霧林の家だけでは
立て直しができない事態……

そこにこいつの家が
協力を申し出てくれたのは
ありがたいこと……でも屈辱だわ

おやっ

同じ学園に通っている。
この男のことはよく知っている。

家は名家で、何代にも渡って大きくなり、
様々な業界に手を伸ばし、
今もなお勢力を拡大している。

そんな家の権力を笠に着て、
この男は学園で好き放題やっている。

気に入らない学生や教師を
学園から追い出したり…

好みの女子にちよつかいを…
中には妊娠させられて
退学した人もいると噂で聞いた

以前、仲良くなりたいたいなんて
声をかけられたことがあった…

噂を知って
相手にしなかったけど…
今思えば私も狙われてたのね

今回の件で
真っ先にこいつの家から
援助の申し出があったんだもの

援助の条件の中に
私をこいつの専属メイドに…
なんてもの入れて…



屈辱だわ…
だけどこれも家のため

イラッ

学園を辞めることにもなったけど
私がメイドになるだけで
霧林が…多くの人が助かるなら…

それじゃあ
まずは謝罪をしてもらおうか

は？



謝罪だよ
しゃ・ざ・い

せっかく仲良くなろうと
声をかけたのに
断ったことがあったよな？

あれは傷付いたぞ…

…ごめんなさい



おいおい誠意が足りないぞ

それにご主人様に対しての
言葉遣いになってないな

そうだな...よし
服を脱いで土下座しろ

なっ...!?

たじ



嫌なのか？
ご主人様の言うことを聞けない
メイドはいらないな

帰っていいぞ

お前の家を援助する話は
なしだがなあ

ニヤニヤ

.....





…わかり、ました

グニッ

今は耐えるのよ

…こいつの男のメイドになるって
決めてから覚悟はしていた

脱いだ服は
綺麗に並べろよ…ぐふふ

…はい

申し訳…

いけませんでした…



アッ



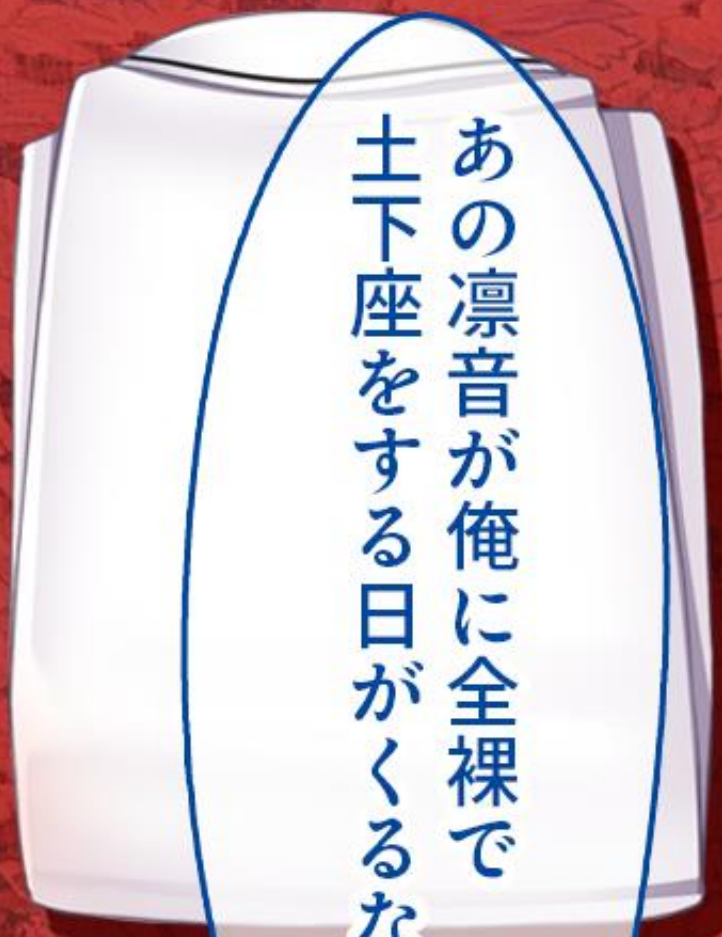
おんごん

ニヤニヤ

それにしても…
下着は黒だと思っていたが…
意外と可愛い趣味をしてるな

あの凜音が俺に全裸で
土下座をする日がくるなんて…

ぐふふっ
いい眺めだ





こんな男の前で
裸で土下座なんて…



屈辱で死にそうだわ…!!



こんな目に遭わせたことを
いつか後悔させてやる…!!

じとおっ…

それにしても綺麗な肌だな

裸になった時に見えた
乳首やマ●コも綺麗だったし…

ニヤリ

もしかして処女か？

おいつ
ちゃんと主人の質問に答えろ！

……

主人の質問に答えない
メイドにはしつけをしないと



きゅっ……!

べっ
ん
ん

答えるまでケツを叩くぞ

ほらっ
処女なのか?
処女じゃないのか?

しよ、処女です……!!

よしよし……
じゃあ次はオナニーは
週にどれくらいしてるんだ?

はっ?

ちゃんと答えろ!

うぐっ……い、いち、にかい……
ぐらい……ですっ!

ゼンッ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ

ゼンッ



その後も質問が続けられて
少しでも返答が遅れるとお尻を叩かれた。



チ
チ

ふう…
話を聞いてよかったよ



はーっ



俺のメイドになる女のこととは
よく知っておきたいからな

だけどまだまだ
メイドとしての立場を
理解できていないようだ…

よし…しばらくは
毎日そのケツを叩いて
気合を入れてやろう

はーっ

感謝しろ…よっ



よし：それじゃあ
メイド服に着替えろ

お前の部屋に
用意してあるはずだから
着替えてこい

ああ：服は持って行つていいが
着るのは許さないからな

はあはあ
：わかりました





それから私は部屋を出ると
事前に教えられていた自室へと
脱いだ服や靴を抱えて向かう。

途中、この屋敷で働いている人たちに
会ったが、私の格好を誰も気にしなかった。

きっとこれまでも屋敷に女の子を
連れ込んで、似たようなことを
していたのだろう。



ゲスめ…

きりり



うー

似合ってるなあ…

事前にお前のスリーサイズを聞いて
特注で作らせたメイド服だ

ありがたく思えよ

……

用意されていた服に着替えて
男の部屋に戻ると、不躰な視線で
全身を舐め回すように見られる。

拒否権がない私は
その視線に耐えるしかなかった。





…はい

さつき裸を見せたんだから
スカートを捲るくらい
大したことないだろ？

…よし
それじゃあスカートを捲れ

ちゃんと下着もこっちで
用意したのをつけてるな

俺のメイドをしてる間、
屋敷からは出さないが
衣食住は保証してやる

元令嬢でも
満足できる生活が送れるからな

…ありがとうございます



メイドという奴隷よ…

こいつのメイドでいる間は
外部との連絡は
一切取ってはいけない

屋敷の外に出てはいけない

主人の命令には
絶対に逆らってはいけない…

懇切丁寧に
説明してくれたわね

イラッ



自由はないものの、
決まり事や命令さえ守れば、
欲しいものは買ってもらえるし、
屋敷内であれば自由にしていると言われている。

だけど命令は絶対

屋敷の中で
自由にしているとは言っけど
結局こいつ次第…っ！





おっと…
スカートは捲ったままだぞ

少しでも手を下げたら
またケツを叩くからな

もみもみ

びび

ずっとこの胸を
揉んでみたかったんだ

柔らかくて揉み心地が最高だ

どうだ？
お前は気持ちいいか？



き、気持ちよく…ない、ですっ

…そうか

ギロ…

おぎゃ

むしゃむしゃ

ちゅちゅ

なんだか言葉にトゲがあるが
ちゃんと質問に答えたから
許してやる

だけど気持ちよくないにしては
乳首がビンビンじゃないか？

そんなこと…

こんな乳首を見せて
そんなことないなんて
言えないだろ

おっぱい

ずりずり

おっぱい

ほらほらっ
たっぷりいじってやる

乳首はちよつと大きめで
摘まみやすくて助かるな



親指と人差し指で挟んで
感触を確かめるように摘ままれてしまう。

んっ

こんなこと……されて……

悔しいけど……
身体は感じてる……

おにゅる

すっ

く

ブル
ブル
ブル

さてと……
こっちの具合はどうかかな？

あつ、ダ、ダメ……！

ん
ん
ん
っ
！



おっ、
触られて嬉しいか？

もうかなり濡れてるぞ？

乳首をいじられて
興奮したんだな

マ●コの方も
しっかりイジってやるからな

ほーらっ
クリトリスも優しくイジってやる

ふああっ！ダ、ダメ…
摘ままないで…くださいっ

そこは…んんう…！！

そんなに身体を震わせて…
気持ちいいんだなあ

イク
イク

イク

イク



乳首とクリトリス
同時にイジられて得られる快感を
楽しむといい

ただ、俺も楽しませてくれ

むぎゅ

しゃっ

ん

く

ん

こっちを向いて口を開けろ

.....?



ほらっ、どうしたらいいか…
わかるよな？

っ！

ぎゅ

屈辱だわ…

おはよう

くっ

んんん



そうそう…
そうやって自分の舌を
俺に絡ませるんだ

俺の舌に媚びるように
ねっとり優しくな



ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

俺もお前の乳首とクリトリスを
やさーしく…イジってやるからな

っ！

それから乳首とクリトリスをイジられる中、
私はこいつとキスを続けた。



屈辱的な思いをしながらも、
身体は感じていて、
それが吐息から伝わる熱から
知られているような気がして嫌だった。

はあ…もうチ●ポが
さつきから勃起してて
痛いくらいだ

はあ

はあ

そろそろ相手を
してもらおうか…

あ
ん
ぽん



そう言つて私から離れると、
ズボンを脱ぐ。そして男性器を
露出させると椅子に座つた。



知識として知つてはいたが、
想像していたよりも男性器は硬そうで
大きく膨らんでいた。

よし、俺のチ●ポを
口で気持ちよくしろ

さっきみたいに
ねっとり優しくな…

手を使うのはダメだぞ？
口だけだ

ほら、舐めやすいように
四つん這いになってこっちに来い





私は命じられるまま、四つん這いになり、
そのグロテスクな肉棒に顔を近付けた。

こんなのを舐めるなんて…



でも、舐めないと…

おおおっ

凜音の舌が俺のチ●ポを…！

今までいろんな女に
フェラをさせてきたが…
快感以外に満たされるものがあるなあ

箱入り娘のお前のことだ
チ●ポを舐めるのは初めてだろ？

正直な感想を言ってみろ

レロ
レロ

ちやう



…気持ち悪いわ

こんな変な匂いがする
不気味なものを
舐めさせられるなんて…

ぐふふ
そのうち慣れる

これから毎日
お前には俺のチ●ポを
相手してもらおうからな

しゅ
しゅ

ちゅぽ
ちゅぽ



ニヤニヤ

たいして上手くないが
凛音にフェラされてると
一段と興奮する

我慢汁が止まらないぞ

うっ…生臭い匂いが強く…

それに変な味…
吐きそう…

しりり

くちゅ

ちゅ



もつと隅々まで
チ●ポを味わうように舐めろ

もつと隅々まで
チ●ポを味わうように舐めろ

出てくる我慢汁も
しっかり舐めるんだ

お前の唾液で
俺のチ●ポがびしょびしょに
なるぐらいしつかりな



4270

言われるがままに私は舐めていく。

吐き気をなんとか堪えつつ、
我慢汁と呼ばれる先端から溢れる汁を
舐め取り、男性器の根元から先端までを
丁寧に舐めていった。

ん〜お

ぐわるる〜

しゅるしゅる

しゅるしゅる

しゅるしゅる



ふふふ

そうそう、いい感じだ
気持ちいいぞ

だけどイクまで
もう一息ってところか…

よし、啜えろ

おめおめ

……はい



んんっ…!!

膨らんだ男性器はとても大きくて、
なんとか口に入れることができた。

さつきよりも
味とか匂いを強く感じる…

それに…なんだか
大きくなってない？

しゃくしゃく

ちゅぽぽぽぽっ



おおおお…！

凜音の口の中は
あったかいなあ…！

啜えられただけで
出すところだった

ぐふふふっ
ほら頭を動かして
口でチ●ポをしごくんのだ



んっ！

んっ！
んっ！
んっ！



歯を立てるんじゃないぞ？

歯を立てたらケツを叩くだけじゃすまないからな

ああ：凜音に口で奉仕されるなんて最高だ

このままずっと…
お前の口にチ●ポを
入れておきたいな

ギュギュギュ

んっ

んっ

せー

せー

千和

そんなの私は嫌よ……!

こんなものを
ずっと啜えているなんて……
死んだ方がマシ……!

……って、何これ?
どんどん大きくなってる……?

汁も止まらないし……
うう……嫌だけど……
飲み込まないと……

千ポ

はあ

ウク

ちゅ

ちゅ

千ポ

ちゅちゅ

√√

ちゅちゅ

ちゅちゅ

んんう？
もしかして我慢汁を
飲んでくれるのか？

いいぞいいぞ
もしこぼしたらお仕置きだ

ほら、もっとチ●ポを
口の奥まで咥えろ

チ●ポを飲み込むぐらい
口ですっぽり包み込むんだ

んん

ん

ん

んんん

んんん

んんん

んんん



こんな大きいの…
口で包み込むなんて…
本当に飲み込まないと無理よ…

でも従わなくてはならない。

ちゃぷぷぷ
ぷぷぷ
ぷぷぷ

ぐわん

んんん…

んんん

んんん

んんん

んんん

私は男性器をより回の奥まで
入れていった。



千ポ

いっいっ

これまで俺を無視した分
たっぷりとなあ！

チ●ポに媚び売って
俺を喜ばせろっ！

いっぞっ
その調子でチ●ポを
ロマ●コでしごけっ







耳障りな声に怒りが湧く……
だけど今は回の中で出された
大量の精液を処理するのに
精一杯だった。

もうお前は
俺のオナニー用の
高級ティッシュだな！

はははっ！
あの凜音の口に
射精できるなんて……！





これが…精液なの？

生臭いし…ドロドロしてるし…
変な味…気持ち悪い…

でも、きつとこぼしたら
お仕置きされる…

飲み込まないと…
うぐう…ごくう…

自主的に精液も飲むなんて
この短時間でメイドが
板についてきたな

よし…おかわりをくれてやる

!?

ヌル



これで終わつたかと思いきや、
そのまま腰を動かされる。

そして回の中に入れたまま、
その後に二回も出したのだ。

おかげで胃の中に大量の精液が
流し込まれた。お腹が少し重く感じ、
息をすると精液の匂いがする。

ど
ん、

千
本

ツン
ツン

千
本

千
本

千
本

は
あ

ん

ん

は
あ



ふう…

凛音の口マンコ最高だったぞ

もつと堪能したいところだが
これから毎日できるんだ

それこそ一日中チ●ポを
しゃぶってもらうことも
できるしな…ぐふふふつ

ブルブル

はーっ

ふーっ



さて…チ●ポが
これだけ濡れていれば
問題ないだろ

そろそろ本物のマ●コを
味わうとするかな

ベッドに行くぞ

チ
チ

ド
☆
☆
☆
♡
♡

.....

長い時間、男性器を咥えていて、
まともに呼吸ができなかった私は
意識が朦朧としていて
大人しくベッドへと移動した。

スッ



ニヤニヤ

ああ…いい眺めだ
マ●コがとても綺麗だ

お前の処女を今から俺が…
ああ想像しただけで射精しそうだ

ほら、こっちも見せろ

この続きは、本編でお楽しみください!!